

第3章 計画の基本的方向





第3章 計画の基本的方向

1 計画の方向性と施策

本市の文化的特徴を伸展させ基本理念を実現するため、計画の方向性と取り組むべき主な施策の内容について、基本目標に基づき次の4項目に分類し、まとめました。

方向1

文化芸術に身近に親しむことで、喜びと感動を享受できるまちづくり

方向2

文化活動の担い手とそれを支える人々をはぐくむまちづくり

方向3

歴史と伝統により培われた地域固有の文化を大切にするまちづくり

方向4

文化を通じて人々が集い、交流する、にぎわいと魅力溢れるまちづくり





文化芸術に身近に親しむことで、喜びと感動を享受できるまちづくり

(1) 学習・体験機会の充実

市民が幅広く文化の魅力を理解し、豊かな感性や想像力を養うことができるように、学習・体験機会の充実を図ります。特に、これからの文化を担う子ども達が、学校、地域、家庭などの身近な場所で参加、体験、学習できるような文化活動、教育機会の充実を図ります。

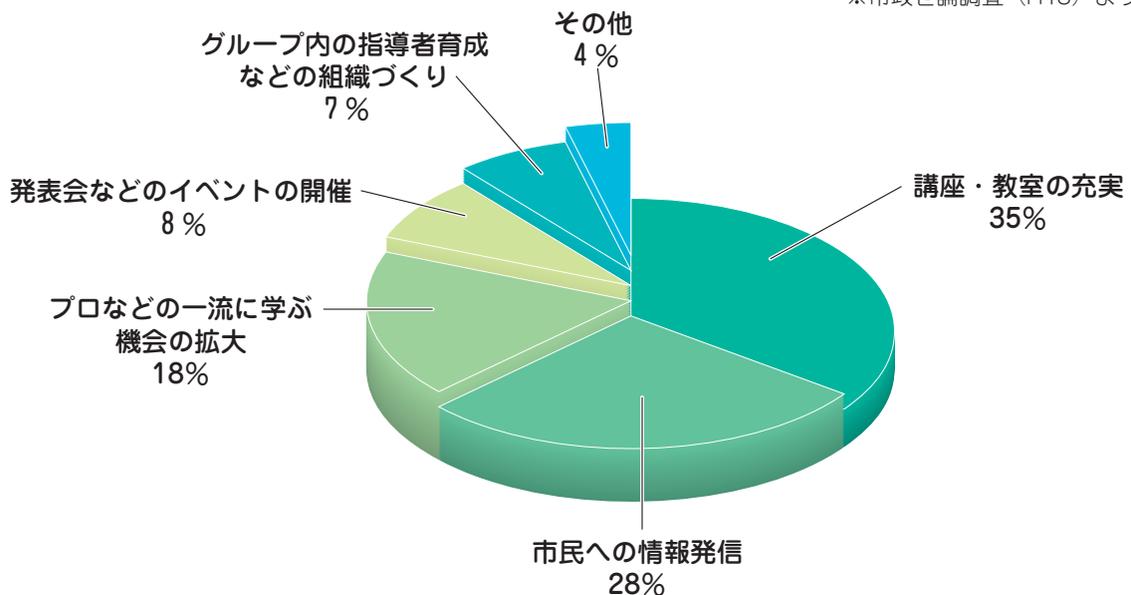
《主要な施策》

施策	内容
文化講座の充実	文化施設、社会教育施設などを活用して、芸術家・専門家・学生・研究者・文化ボランティアなどを講師とした文化講座、レッスン、指導などを行い、教育普及事業の充実を図ります。
子ども教室の充実	子ども達が文化活動を通じて喜びや感動を体感し、文化について学べるように、伝統文化子ども教室、放課後子ども教室や体験教室など学習・体験機会の充実を図ります。
学校・地域・家庭との連携	文化施設と学校・地域・家庭との連携を強化することにより、身近な場所で芸術鑑賞、創作体験などの機会を得て、文化に親しむことのできるような環境づくりを進めます。

市民の声①

文化活動の発展に必要なもの

※市政世論調査（H18）より



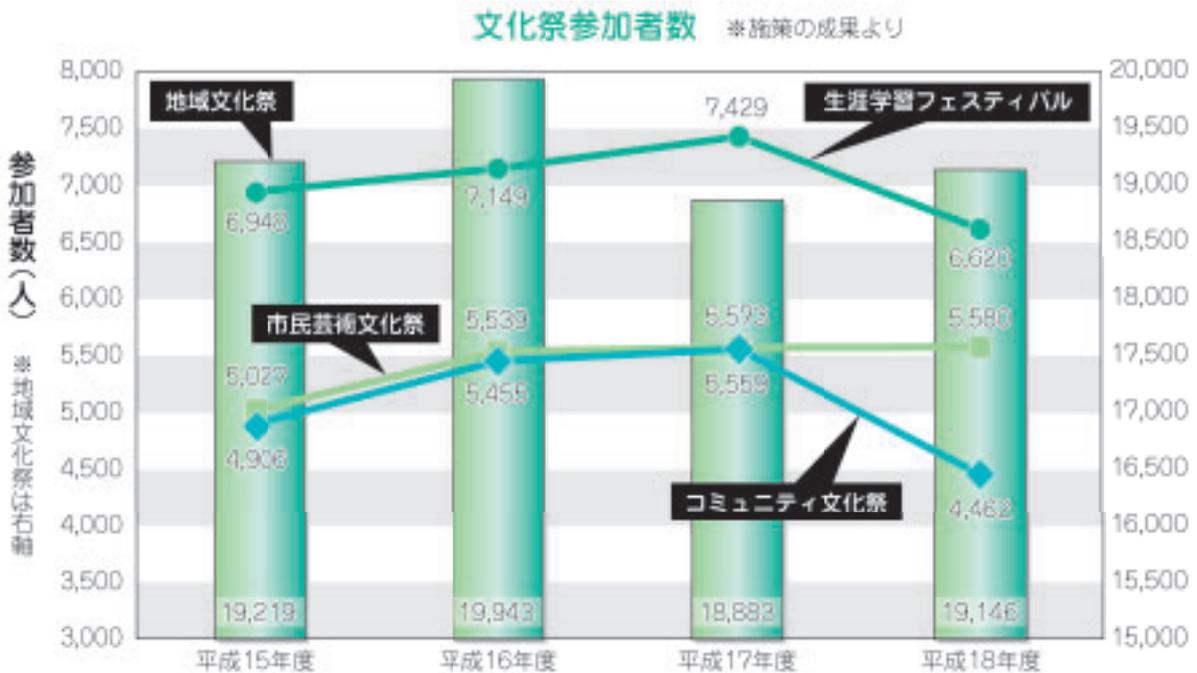
■第3章 計画の基本的方向■

(2) 鑑賞機会の充実

市民が身近な場所で良質な文化芸術に親しみ、喜びや感動を味わうとともに芸術的感性を磨き創造意欲を高めていくことができるように、優れた作品を鑑賞できる機会の充実に努めます。

《主要な施策》

施策	内容
鑑賞機会の充実	文化施設を活用することで、舞台芸術(音楽、演劇など)、美術作品(絵画、彫刻など)の鑑賞機会の充実に努めます。
記念事業の開催	美術館などの文化施設の周年記念にあわせて、多くの市民の印象に残るような鑑賞型事業を開催できるように努めます。
市民文化の日(仮称)の設定	文化施設に割引料金又は無料で入館できる市民文化の日(仮称)の設定を検討し、市民が文化芸術に親しみやすい環境づくりを進めます。
アウトリーチ*活動の展開	多くの市民が身近な場所で優れた文化芸術に触れ、理解を深めることができるように、各文化施設によるアウトリーチ活動を積極的に展開します。
文化祭の開催	広く市民に文化芸術の鑑賞、参加、創造機会を提供し、文化活動の裾野拡大を図るため、市民主体の文化祭をより効果的な方法で開催できるように努めます。
音楽祭の開催	広く市民に音楽活動の成果発表の場や音楽鑑賞の機会を提供するため、市民主体の音楽祭を開催できるように努めます。



用語解説

アウトリーチ活動…文化施設(美術館・芸術劇場・博物館など)が裾野を広げる契機として行う施設訪問などの対外的な広報活動

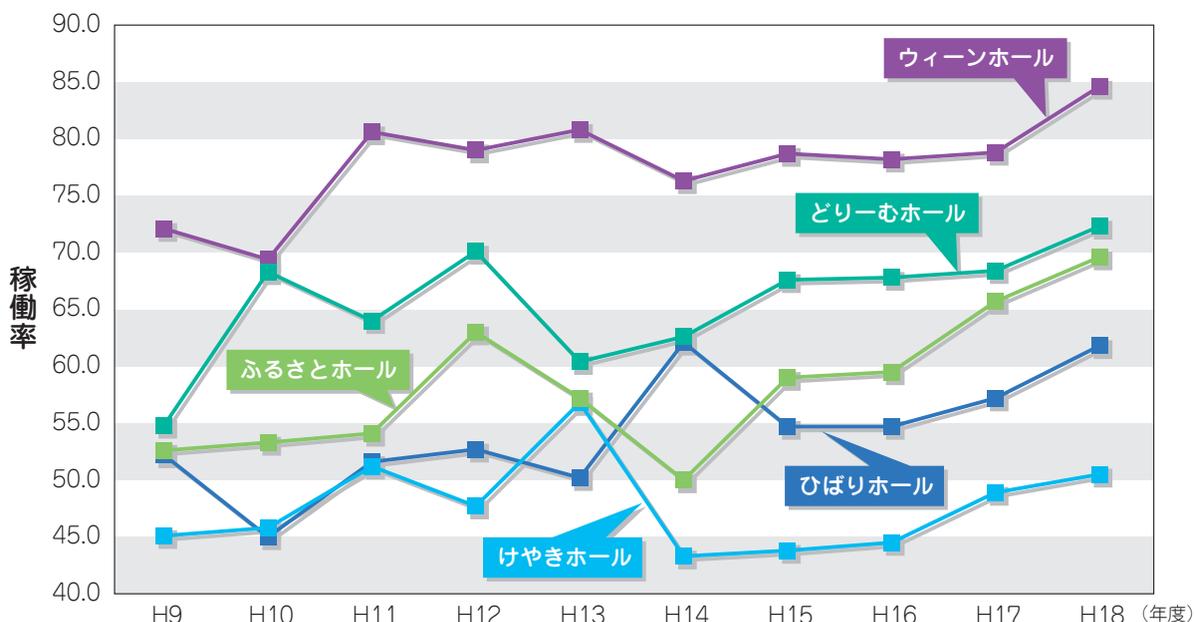
(3) 活動場所の整備

様々な文化活動(学習、創作、練習、発表、鑑賞など)の拠点となる市内の文化施設や公共スペースを、あらゆる人にとって安全で使いやすい状態に整備するように努めます。

《主要な施策》

施策	内容
文化施設の整備	様々な文化活動の拠点となる文化施設を安全で使いやすくその持てる機能を十分に発揮できる状態に順次整備していきます。施設の*バリアフリー化に取り組むとともに、*ユニバーサルデザインの考え方に基いたあらゆる人にやさしいまちづくりを進めます。
景観への配慮	施設の外観変更を伴う改修工事等を実施する際には、周辺のまちなみと調和したデザインとなるよう景観面に十分配慮するよう努めます。
文化施設の運営	民間の能力を活用した指定管理者制度や*PFI方式の効果を検証し、多様で満足度の高いサービスを市民に提供できるように努めます。また、文化施設が地域に果たしている使命や役割等を十分に果たせるような運営に努めます。
文化ゾーンの形成	府中の森芸術劇場、府中市美術館など一帯の文化施設を核とし、公園、自然景観、まちなみなどを組み合わせ、オープンスペースなども活用することで、まちの文化活動を活性化するための複合的な拠点(文化ゾーン)を形成できるように研究を進めます。

ホール稼働率 ※事務報告書より



用語解説

バリアフリー…障害のある人や高齢者が生活を営むうえで支障がないように、商品を作ったり、建物を設計したりすること
 ユニバーサルデザイン…施設、住宅、製品などを設計・製造する場合に、障害のある人用という区分けをなくし、誰でもが使えるものを作るという考え方

PFI (Private Finance Initiativeの略) …公共施設の整備や公共サービスの提供を民間に委ね、民間資金等を活用する手法

方向2

文化活動の担い手とそれを支える人々をはぐくむまちづくり

(1) 芸術家に対する支援

文化芸術の頂点を担う芸術家の自主性、創造性を尊重し、芸術活動が活発に行われるように環境を整備することで、文化水準の向上を図ります。また、若手芸術家の育成支援と活躍の場の創出に努めます。

《主要な施策》

施 策	内 容
若手芸術家に対する支援	文化施設における*インターンシップ(研修生受入)などの実施により、未来の芸術家に対する育成支援を継続的に行います。また、若手芸術家の成果発表の場を確保するため、展覧会事業(ピエンナーレや公開制作)やめばえコンサートなどの事業の充実に努めます。

(2) 文化を担う人材の育成

市内には優れた文化人が多数在住し、今もなお多方面において活躍しています。また、過去に本市が輩出したゆかりある文化人も大勢います。

こうした人々の力も借りながら、次代の文化活動の担い手や文化を支える人材を育成していけるように努めます。



用語解説

インターンシップ…学生が一定期間、企業等において研修生として働く就業体験制度

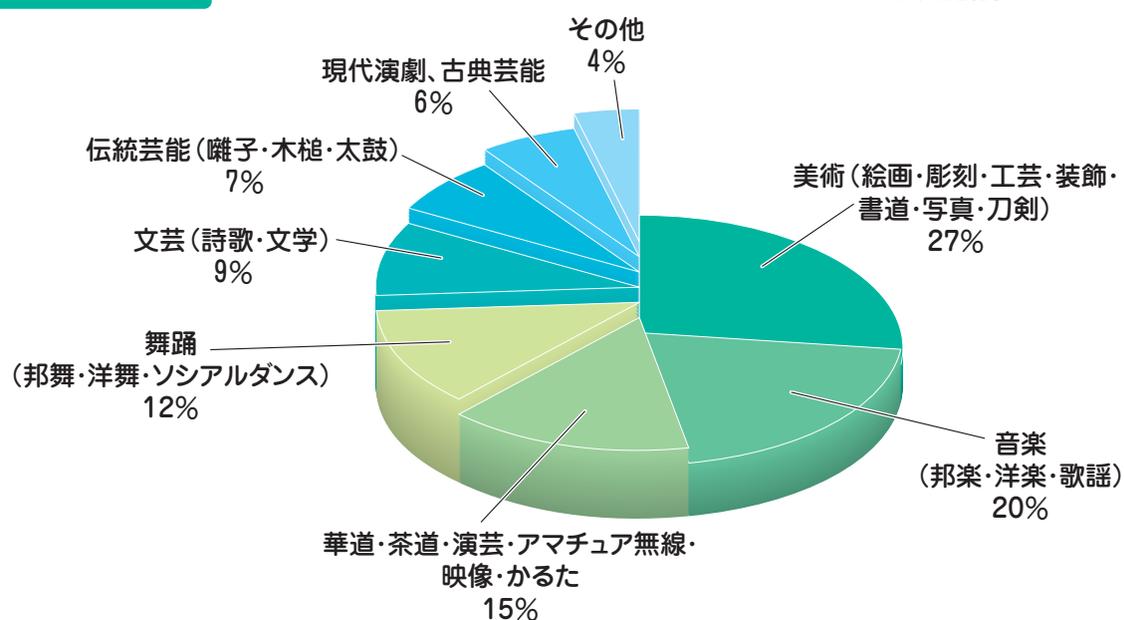
《主要な施策》

施策	内容
文化の担い手の育成	文化に関し専門的知識やノウハウを有しているプロデューサー、ディレクター、リーダーといった優秀な人材を幅広く求め、指導的立場からの参画を促すことで、文化の活性化を図るとともに、次代の文化の担い手を育成できるように努めます。
文化を支える人材の育成	舞台技術、アートマネジメント、ボランティアマネジメントなどについて学ぶことのできる場を設け、芸術家・アーティスト(作品を創る人)と観衆・聴衆(作品を鑑賞する人)とを結び付ける役割を担う人材を育成できるように努めます。

市民の声②

参加している・したい文化活動

※市政世論調査（H18）より



(3) 文化に対する支援環境の整備

芸術家、専門家、文化団体や市民グループなど文化活動を担う様々な主体が自主的な活動を行いやすいように環境整備を進めます。また、文化を側面から支えている支援者(市民、企業、団体など)が活動を行いやすいように、支援環境の構築について研究を進めます。

■第3章 計画の基本的方向■

《主要な施策》

施 策	内 容
文化活動に対する支援	文化活動を担う多様な主体を社会全体で幅広く支援できるような環境整備を進めることにより、文化の活性化を図ります。また、国や東京都などの支援制度についても調査・研究し、適宜、情報提供を行います。
市民の主体的活動に対する支援	市民が自ら立ち上げ、企画・運営に参画し、主体的に取り組んでいる文化事業や催しについて、今後とも継続的に支援できるように努めます。
文化振興ファンドの検討	文化活動の基盤となる財源確保を強化するため、文化振興目的のファンド(基金)の設置について検討します。さらに、支援者に対する顕彰などについても検討を進めます。
企業とのパートナーシップ	*CSRという概念のもとに社会貢献を重視する企業が増える中で、企業とパートナーシップを築き、*メセナ活動を活用した文化振興を図れるように環境整備を進めます。
NPO・ボランティアとの協働	文化をサポートするNPO・ボランティアの育成、参加促進、活動場所の拡大などについて支援します。また、登録制度や情報提供の充実により、これらの人々と市民、企業、行政などが協働して文化振興を推進できる体制づくりを進めます。



用語解説

CSR(Corporate Social Responsibilityの略)…企業の社会的責任。企業は、経済だけでなく社会や環境などの要素にも責任を持つべきであるという考えのもとに成立した概念
 メセナ活動…企業による文化芸術の擁護・支援活動



歴史と伝統により培われた地域固有の文化を大切にするまちづくり

(1) 文化財の保存・活用

長い歳月を経て伝えられてきた歴史上重要な史跡や貴重な文化財を適切に整備・保存するとともに、公開・普及に取り組むなど積極的に活用することで、次世代に継承します。

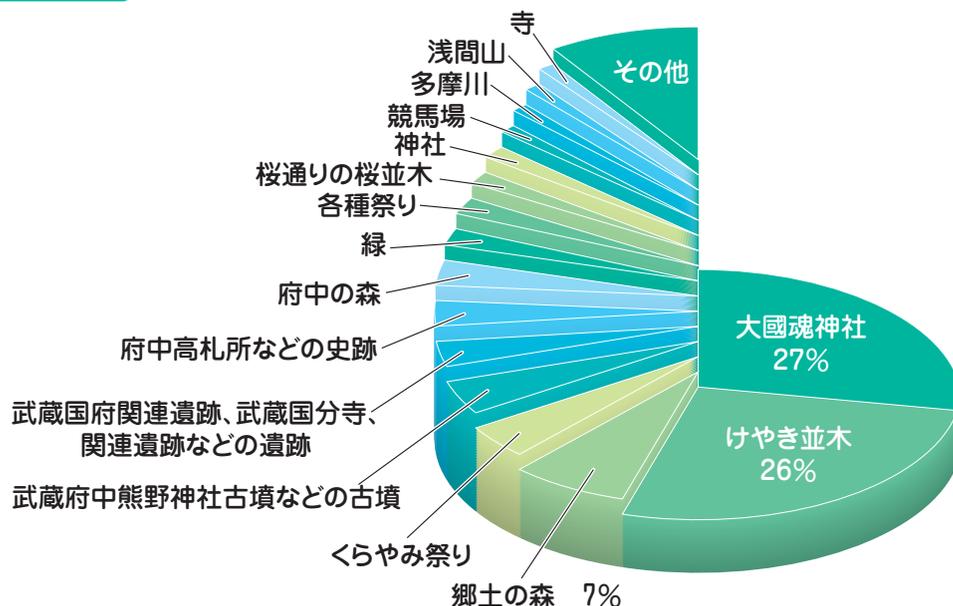
《主要な施策》

施策	内容
文化財の調査・保存・活用	市内の貴重な有形・無形文化財を後世へ伝えていくために、文化財に関する総合調査を実施し、現状を把握するとともに、基礎的資料の蓄積を図ります。また、これらの保存・活用を、市民と協働で推進します。
地域の歴史の紹介・普及	歴史や史跡に関心の深い市民を募り、※ヘリテージマネージャーなどを養成し、地域の歴史の紹介・普及活動を市民主体で行えるように支援します。

市民の声③

将来残すべき貴重な文化財

※市政世論調査（H18）より



用語解説

ヘリテージマネージャー…文化財について、歴史的価値観、地域との関係などについて幅広く深い知識をもち、市内文化財の保存・活用にあたり、積極的かつ中心的な役割を担う市民ボランティア

■第3章 計画の基本的方向■

(2) 地域文化の継承と活性化

地域の歴史の中で培われてきた固有の郷土芸能、祭礼行事及び伝統的な生活文化の保存、継承に努めます。これにより、地域に愛着を持ち、個性(府中らしさ)を大切にする風土を醸成します。

また、地域の文化活動を通じた交流を盛んにすることで、住民相互の連携をより強め、元気で活力ある地域社会の創造を目指します。

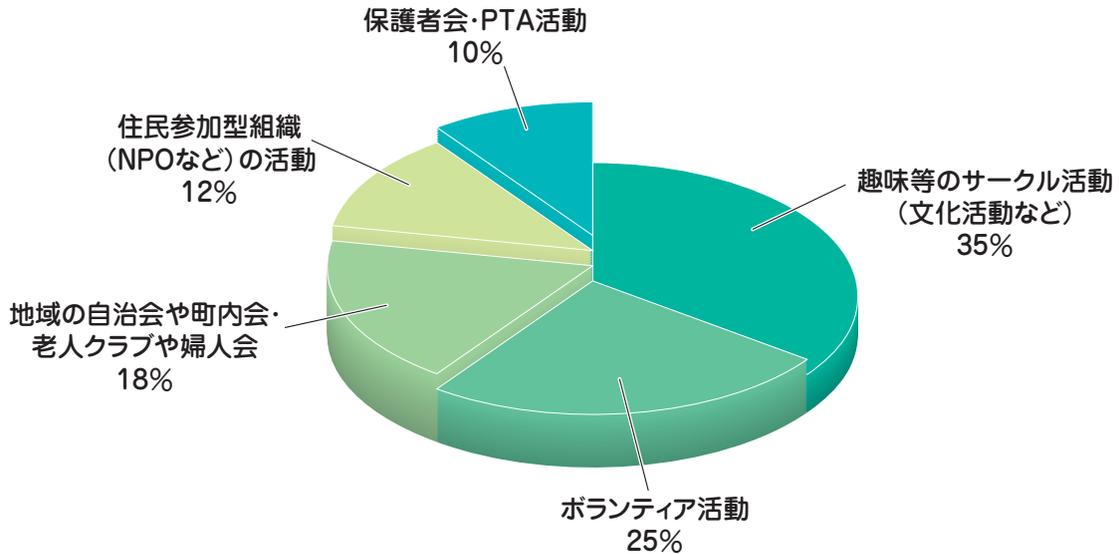
《主要な施策》

施 策	内 容
郷土芸能の伝承	地域の暮らしの中から生まれた伝統文化や郷土芸能の保存・継承に努めます。そのための伝承活動を支援するとともに、郷土芸能祭を定期的に開催できるように努めます。
いしぶみの整備	ふるさと府中の歴史や風土を理解する道しるべとして設置されたいしぶみ(由来碑)の内容を精査し、整備に努めます。また、これを記した小冊子(いしぶみ草紙)を改版し、内容について広く市民にPRしていきます。
音楽作品の創作・伝承	地元の題材(人物、自然、文化財など)をテーマにした音楽作品の創作、伝承活動を支援します。これにより、郷土に対する理解と愛着を深めます。
地域における世代間交流の促進	地域で実施されている伝統的な祭りや催しを通じて、そこに暮らす子どもから高齢者まで様々な世代の地域住民が交流を深め、伝統文化や行事を体験的に楽しみ、学べるように支援します。
文化を楽しむ活動の促進	多くの市民がライフステージにあわせて幅広く生活文化(趣味、娯楽、教養など)活動に参加し、日々の生活を充実させ、楽しむことができるように事業内容、実施方法等を工夫し、生きがいづくりに努めます。
地域の食文化の保存	地場の食材、調理法を活かした郷土料理を見つめ直すことで、地産地消の考え方のもと、固有の食文化の保存・継承に努めます。



地域活動への参加動向

※健康に関する市民アンケート調査報告書より



(3) 美的景観の保全・整備

地域が誇る美しい風景、歴史や自然が織り成す良好な文化的景観を整備・保全し、まちにゆとり空間を創出します。こうした安らぎと潤いの溢れるまちを形成することで、文化の心をはぐくみ、快適で豊かな生活環境の実現を図ります。

《主要な施策》

施策	内容
自然環境と景観の保全	浅間山、多摩川、崖線(ハケ)の緑などの貴重な自然環境と美しい景観の保全に努め、自然と触れ合う機会を提供することで、自然を大切にす市民の意識を醸成し、まち全体の文化性を高めます。
けやき並木の整備	けやき並木を子どもから高齢者まで皆が安心してくつろぐことができ、文化に親しめる場所として整備します。また、地域の学校(農工大や農業高校)と連携することで、専門的見地から並木の景観維持と樹木の保護に取り組みます。
花と緑に溢れるまちづくり	市民、企業、学校、行政などが一体となって、花と緑に溢れるまちづくりを推進することで、都市空間に潤いと安らぎを創出していきます。また、花と緑の*里親制度(アダプトプログラム)の導入についても検討を進めます。

用語解説

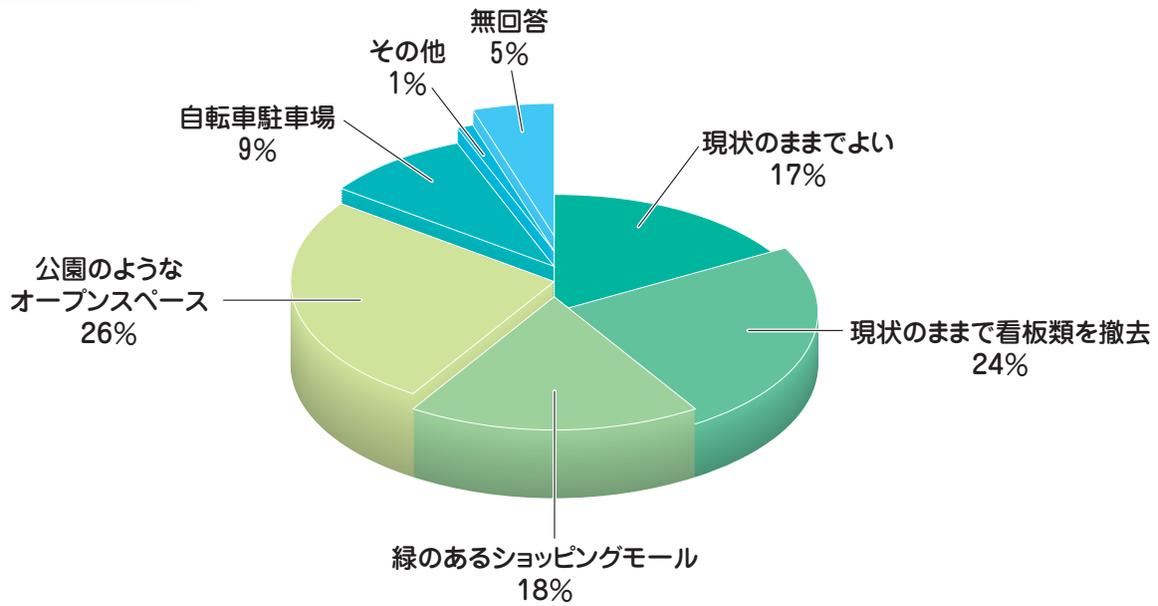
里親制度(アダプトプログラム) …市民と行政との協働により進めるまちの美化プログラム。一定区画の公共スペースを養子にみたく、市民が里親となって美化・清掃等の活動を行い、行政がこれを支援する制度

■第3章 計画の基本的方向■

市民の声④

けやき並木の将来像

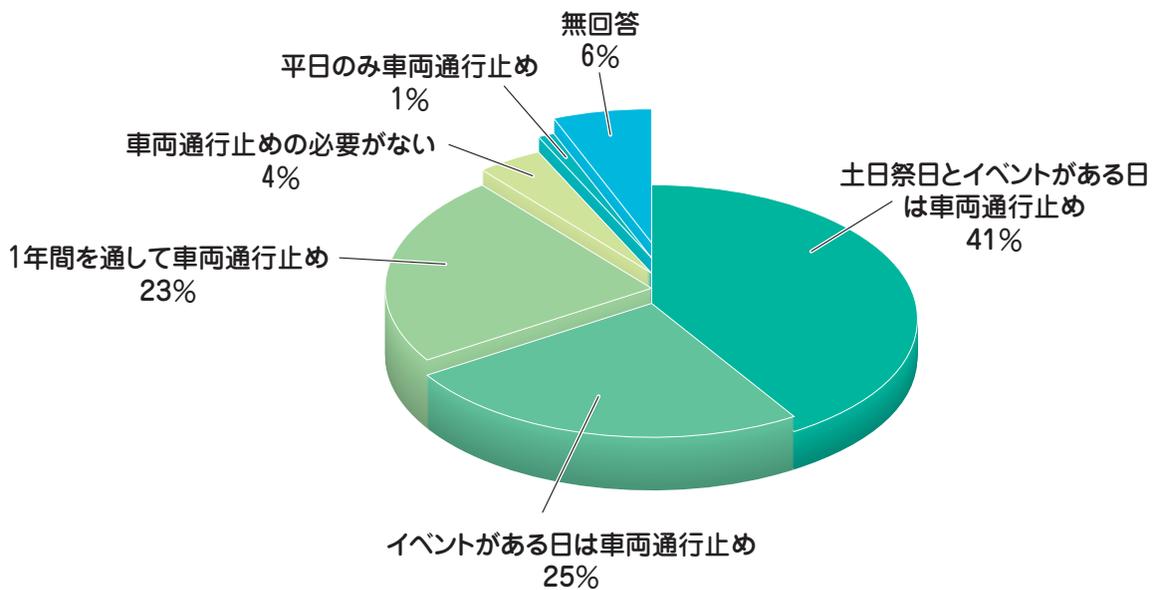
※市政世論調査（H18）より



市民の声⑤

けやき並木の車両通行止めについて

※市政世論調査（H18）より





文化を通じて人々が集い、交流する、にぎわいと魅力溢れるまちづくり

(1) 文化と観光との連携

本市には、特色のある文化的資源(歴史資源、自然資源、文化施設など)が数多く存在し、これらは貴重な観光資源にもなっています。こうした文化的資源を整備するとともに、これらをつないだ魅力的な観光ルートを開発し、市内各所で行われている文化的催しとあわせてPRすることで、文化、観光、産業振興との連携を図り、にぎわいのあるまちづくりを進めます。

《主要な施策》

施 策	内 容
文化的資源をつないだ観光ルートの開発	市内の文化的資源をつなぐ魅力的な観光ルートを開発していくことで、観光客の増加を図ります。また、文化スポットへのアクセス改善に加え、レクリエーション的要素の導入を図ることで誘客効果を高め、にぎわいと魅力溢れるまちづくりを推進します。

(2) 文化情報の収集と発信

市民が身近な機会を捉えて積極的に文化活動に参加し、多様な文化に触れられるように、情報通信技術(*ICT)など様々な方法を活用して、文化情報を収集、発信できる環境づくりを進めます。

《主要な施策》

施 策	内 容
文化情報の収集	市民、文化団体、専門家、企業、教育機関、国や東京都などから文化に関する情報(活動、資源、人材などに関する情報)を幅広く収集し、正確な情報の把握に努めます。
文化情報の発信	広報紙、情報誌、ポスター、チラシ、パンフレットなど様々な媒体を活用した文化情報の提供に努めます。また、市のホームページの充実などICTを活用した情報の受発信にも取り組み、*ユビキタスネット社会への対応を進めます。さらに、新聞、テレビ等のマスコミや*フィルムコミッションを活用した*パブリシティにも積極的に取り組みます。

用語解説

ICT(Information and Communications Technologyの略) … IT(情報通信技術)と同義で使われるが、コミュニケーションを伴ったICTが定着しつつある
 ユビキタスネット…いつでも、どこでも、何でも、誰でもアクセス可能なネットワーク環境
 フィルムコミッション…映画等の撮影場所誘致や撮影支援をする公的機関
 パブリシティ…広報・PR活動

■第3章 計画の基本的方向■

(3) 文化交流の促進

市域を越えて国内都市(近隣市、姉妹都市など)や海外都市(友好都市など)との文化交流を促進することで、異文化間の相互理解を深めるとともにネットワークづくりを進め、さらなる文化の向上と地域の活性化を図ります。

《主要な施策》

施 策	内 容
外国人に対する支援	在住外国人や外国人旅行者が本市の文化に親しみ、理解を深められるように、外国人向けの文化情報の提供や各種事業における交流機会の充実に努めます。
友好都市との交流促進	友好都市(ウィーン市ヘルナルス区)との関係を生かし、美術、音楽を中心とした華やかなイベントの開催などについて実現の可能性を模索するとともに更なる交流を促進します。
姉妹都市との交流促進	姉妹都市(長野県佐久穂町)と相互訪問などを通じて交流し、互いの文化に対する理解を深め、友好の絆を強める取り組みを推進します。



2 体系図

